

実施計画の評価に関する審議会等の主な意見

参考資料 3

注) 「審議会等」には、総合計画審議会計画推進評価部会及び同部会委員の意見聴取(部会グループ会議)を含みます。

会議名	意見	県の検討方向
第121回総合計画審議会(平成29年6月7日)	数値目標については、その目標の達成だけではなく、プロジェクトのねらいにどの程度貢献しているか常に振り返り、目標設定が適切であったのか検討していく必要がある。	数値目標(KPI)の達成状況だけでなく、様々な統計データなども活用し、総合的に評価する。 また、計画最終年度に行う点検では、設定した数値目標の検証を行う。
総合計画審議会計画推進評価部会委員の意見聴取(部会グループ会議)(平成30年4月23日)	数値目標とした項目の全国平均値を記載すると、評価しやすくなるので、今後、工夫する必要がある。	全国や他県と比較できる数値目標(KPI)については、可能な限り「KPIの達成状況」の分析の中で示すとともに、「社会環境を表す統計データ等」の整理においても、全国や他県との比較の視点も取り入れていく。
総合計画審議会第82回計画推進評価部会(平成30年5月21日)	量的な評価のみでなく、経済的効果や社会的インパクト評価、副次的効果も含め、質的な評価による検証についても検討していく必要がある。	数値目標(KPI)の達成状況だけでなく、事業の取組状況や様々な統計データなども活用し、総合的に評価する。 また、「概ね順調」などのランク付けだけでなく、定性的な評価も行っていく。
第86回計画推進評価部会・第18回計画策定専門部会(令和元年5月30日)	プロジェクトを評価するにあたって、県の取組による効果とそうでないものがあるが、どのように評価していくのかということについても、基準を明確にしておく必要がある。	第3期実施計画は数値目標を、社会・経済状況など様々な要因によって変動する可能性がある「指標」と、県が実施した施策・事業の進捗状況や達成の度合いを具体的に測るための「KPI」に分類している。 毎年度の評価にあたっては、KPIの達成状況の分析を行うとともに、主な取組とその成果を整理した上で、プロジェクトの達成状況や課題などを、指標の動向や社会環境を表す統計データなどを活用して多角的に検証する。
第86回計画推進評価部会・第18回計画策定専門部会(令和元年5月30日)	取組みにあたって、どのくらいのお金がかかっているのかも示す必要がある。	第3期実施計画で示したプロジェクト事業費については、毎年度の評価の際にどの程度予算化されたのか、その予算化率を示す。
第86回計画推進評価部会・第18回計画策定専門部会(令和元年5月30日)	取組みの成果について、県民にとって分かりやすくフィードバックする必要がある。	評価結果については、分かりやすさに配慮しつつ、詳細に内容を整理し、ホームページで公表するとともに、その概要を示したパンフレット(概要版)を作成して広く配布し、県民との情報共有を推進する。
第128回総合計画審議会(令和元年6月6日)	単独の指標・KPIだけで検証するのではなく、SDGsの相互関係にも着目して検証する必要がある。	県の取組とSDGsのゴールとの関連を整理するとともに、経済・社会・環境の三側面のバランスに配慮されているかなどを検証する。
第129回神奈川県総合計画審議会(令和元年7月24日)	指標とKPIの実績値について、関係性や因果関係を検証するなど、計画を適切に活用していく必要がある。	計画の適切な進行管理を図るため、毎年度の評価において、KPIの達成状況を分析し、指標についても評価の参考として実績値を示すとともに、こうした数値目標だけでなく、事業等の取組状況や社会環境を表す統計データなども活用し、プロジェクトの進捗状況を多角的に検証する。